

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス・アキュドライブV</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.494</b>	△RG <b>0.052</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ナノデス・アキュドライブV**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番

**比較対照ボール：ナノデス・アキュドライブIV**

フレアーの幅  インチ

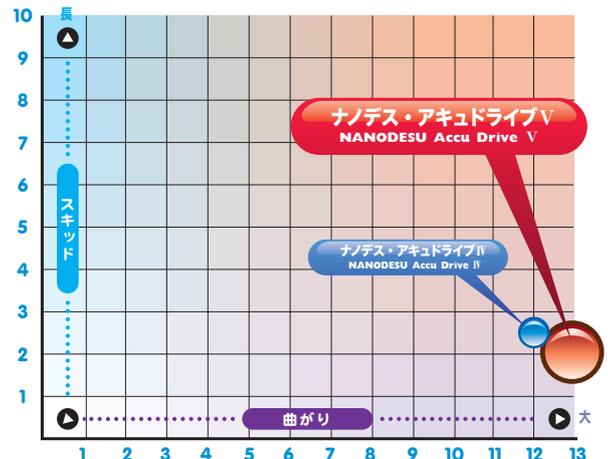
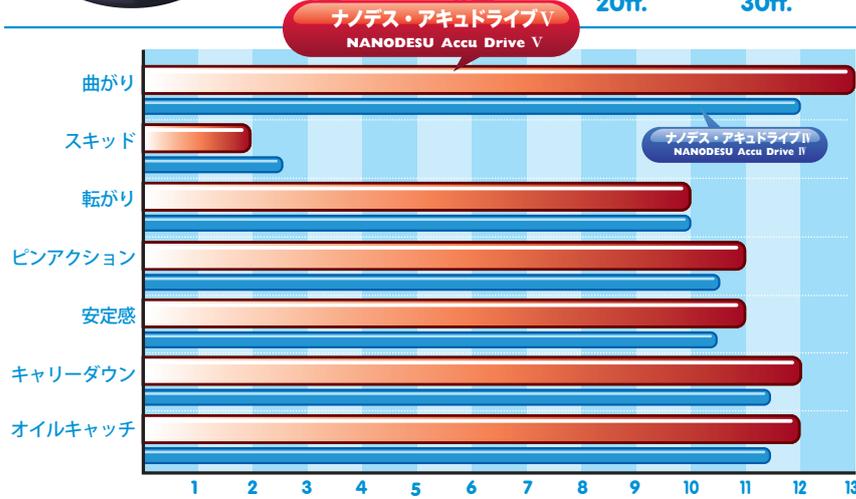
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



## ボールの評価

ボウラーにとってボール選びはスコアを大きく左右する重要な要素と言えるでしょう。そのなかでも長年にわたり「信頼と実績」を築き上げ、多くのプレイヤーから高い評価を得ているアキュドライブシリーズの最新作「アキュドライブ5」が満を持して発売されます。アキュドライブシリーズに限らず、国産ボールの最大の特徴といえば、「匠」の精密設計と衝撃吸収コアであり、特に衝撃吸収コアシステムは、ピンヒット時のエネルギー伝達を最大化し、強烈なピンキャリアを生み出すことで知られており、国内外で比較してもトップレベルにあると思います。

また注目したいのが、カバーストックにNano-Bond 5.0を採用している点でしょう。これはツアープレミアム8と同じ素材であり、オイル上での安定感とバックエンドの力強い曲がりが高い次元で両立できたことを立証しています。特にミディアムヘビーからオイリーなコンディションでは、適度なスキッドを確保しつつ、ブレイクポイントで鋭く方向転換する特性が見られ、滑りすぎず、扱いやすさも兼ね備えているため、幅広いレーンコンディションで活躍できるでしょう。

アキュドライブ5はさらなる進化を遂げ、極めてバランスの取れた性能を持ちます。安定した転がりと鋭いバックエンドリアクション、そして異次元のピンキャリアは、トーナメントシーンでも大きな武器になるはずで。

「とにかくストライク率を上げたい」、「どんなコンディションでも安定したパフォーマンスを発揮したい」そんなボウラーにとって「アキュドライブ5」は最適な選択肢となるでしょう。

## 特記事項

**ツアープレミアム8で立証されたNano-Bond 5.0カバーを採用し、アキュドライブ3の特徴を併せ持つモンスターなボールがここに誕生しました。**